

マスターシール® 25L/40L

MASTERSEAL®25L/40L

鉄筋コンクリート補修用防錆剤

本商品は、亜硝酸リチウムを主成分とする鉄筋コンクリート用防錆剤で、液状品のため補修モルタルへの混和が容易にでき、コンクリートへの浸透・拡散性が高く、中性化や塩害(内在塩分、飛来塩分、融雪剤等)による鉄筋の発錆を抑制します。

特長

- 1) 鉄筋の不動態被膜を再生するので、塩化物イオンに対する防錆効果が優れています。
- 2) 長期間にわたり、安定した防錆効果を発揮します。
- 3) フレッシュおよび硬化モルタルの諸物性に与える影響が少ない。
- 4) コンクリートへの拡散性が高いため深く浸透します。

成分および物性

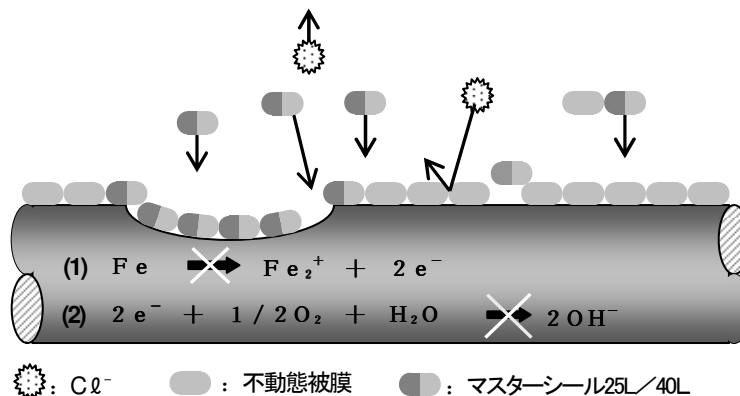
タイプ	主成分	外観	pH(20°C)	密度(20°C)
マスターシール25L	亜硝酸リチウム	青色透明液体	9~12	1.10~1.20
マスターシール40L	亜硝酸リチウム	青色透明液体	8~10	1.20~1.30

用途

塩害で劣化した鉄筋コンクリート構造物の鉄筋防錆

防錆効果

本商品は、コンクリート中の塩化物イオンによる鉄筋の腐食に対し、不動態被膜の形成を助けると共に、塩化物イオンによって破壊された不動態被膜を鉄イオンと反応して再生するので鉄筋を錆びにくくさせます。



使用方法と使用量

- 1) 本商品は原液で使用し、断面修復材に練混ぜるか、コンクリートのハツリ面に直接塗布する場合は刷毛で塗布して下さい。注) 噴霧による塗布は絶対に避けて下さい。
- 2) 本商品を練混ぜて使用する場合は、使用水量の一部となりますので、練混ぜ水量から差し引いて下さい。

[練混ぜ水の補正量算出方法]

エマコス99P(練混ぜ水量: 4.3ℓ/袋)に、1袋当たりマスターシール25L(亜硝酸リチウム濃度: 25%)又

マスターシール40L(亜硝酸リチウム濃度: 40%)を0.200kg使用する場合

マスターシール25Lの場合	マスターシール40Lの場合
補正水量(kg/袋) = $0.2 - (0.2 \times 25 / 100) = 0.15$	補正水量(kg/袋) = $0.2 - (0.2 \times 40 / 100) = 0.12$
練混ぜ水量(kg/袋) = $4.3 - 0.15 = 4.15$	練混ぜ水量(kg/袋) = $4.3 - 0.12 = 4.18$

- 3) 本商品を塗布して使用する場合は、塗布した面に結露することがあります。結露水は断面修復材の付着性を阻害しますので、これを拭き取った後断面修復材を施工して下さい。
- 4) 使用量は、コンクリート中の塩化物イオン量によって決定して下さい。

使用上及び取扱上の注意事項

- 1) 本商品は、他の混和剤(特に強酸性)と混合使用は避けて下さい。

安全にご使用いただくために

本商品は、亜硝酸化合物を使用しておりますので、下記の注意事項を十分注意して取り扱って下さい。

1. 他の混和剤や化学物質(特に強酸性)と混合して使用しないで下さい。有害ガスを発生する恐れがあります。
2. ロダン化合物を含有する混和剤を使用したコンクリートとの併用は、絶対に避けて下さい。
3. 他の混和剤との併用については、必ず弊社へご相談下さい。

- 2) 取り扱いに当たっては、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- 3) 万一目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けて下さい。
- 4) 万一飲み込んだ場合は指を喉に差し込むなどにより嘔吐させた後、専門医の診察を受けて下さい。
- 5) 皮膚に触れた場合、直ちに大量の流水で洗浄して下さい。汚染された衣服を脱がせ再度洗い流して下さい。
- 6) 本商品を混和した断面修復材の表面にウレタン系樹脂を施工した場合、変色することがあります。
- 7) 廃棄処分する場合は、セメント系材料と混ぜて硬化後処分するか、少量の場合は大量の水で希釈(1000倍以上)し中性化した後、酸類と接触しない安全な場所を選んで廃棄して下さい。

包装形態

20kg入り